



平城宮資料館 東から

## 奈良国立文化財研究所要項

### I 研究事業概況

#### 研究発表・現地説明会

- 1969年6月7日 於本所「平城宮跡発掘調査10カ年の成果」坪井清足・沢村 仁・狩野 久。
- 1969年9月13日 於平城宮跡第54～57次調査現場 佐藤興治・小笠原好彦。

#### 在外研究

考古学的遺構保存の調査研究 1969年8月18日～11月17日 田中 琢 ソ連・デンマーク・イギリス。

#### 海外学者招致

デンマーク国立博物館保存科学部 B. BRORSEN CHRISTENSEN博士、文化庁の招きで滞日。1970年3月16～30日 調査部では保存科学について指導をうけた。

#### 平城宮跡発掘調査指導委員会

- 1969年9月29・30日 於調査部。現地視察第54～57次調査現場、藤原宮跡・飛鳥地方。
- 1970年2月26・27日 於調査部。現地視察平城宮跡第59次・藤原宮跡第1次調査現場。

#### 普及事業

- 平城宮跡覆屋特別公開 1969年10月22日～11月25日 見学者11,526名。
- 平城宮展(朝日新聞主催 文化庁後援)1969年4月18～23日 於三重県四日市市近鉄百貨店 見学者7,765名。

#### 昭和44年度文部省科学研究費交付金による研究

研究課題	種類	担当者	交付金
七大寺巡礼私記の研究	総合A	守田公夫 ほか	単位千円 1,300
新しい遺跡測定法の開発研究	一般A	坪井清足	19,000
古墳時代における生産組織の地域的研究	一般C	本村豪章*	410
建造物の経年的変形に関する研究	一般D	牛川喜幸	200
日本古代小国論	一般D	狩野 久	130
友禪染の研究	一般D	守田公夫	150
古代中世における土地利用の歴史的展開	一般 (継続)	坪井清足 ほか	300
日本古代建築の部材構成に関する研究	一般 (継続)	沢村 仁	180
建具の変遷に関する研究	奨励A	細見啓三	150
中世における石燈籠の編年的研究	奨励A	伊東太作	150
日本高僧絵伝成立史の研究	奨励A	真鍋俊照	100
木製生産用具の集成的研究	奨励A	町田 章	120
4・5世紀における政治社会の考古学的考察	奨励A	猪熊兼勝	100
文字瓦の研究	奨励A	森 郁夫	100
土偶の研究	奨励A	小笠原好彦	100
須恵器製作技術の伝播	奨励A	山沢義貴**	100

\*決定後、転任のため、研究協力者(松下正司ほか)がこれをうけつた。

\*\*決定後、辞任したため返済した。

## 奈良国立文化財研究所要項

### Ⅱ 組織規定

#### 文部省設置法 抜萃

昭和24年法律第146号  
昭和43年6月15日一部改正

第36条 第43条に規定するもののほか、文化庁に次の機関を置く。

国立文化財研究所（前後略）

第41条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行なう機関とする。

2 国立文化財研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都
奈良国立文化財研究所	奈 良 市

3 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は文部省令で定める。

#### 文部省設置法施行規則 抜萃

昭和28年1月13日文部省令2号，追加昭和43年6月15日  
文部省令20号，昭和45年4月17日文部省令第11号

### 第5章 文化庁の附属機関

#### 第4節 国立文化財研究所

##### 第2款 奈良国立文化財研究所

###### (所 長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。

###### (内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務課，美術工芸研究室，建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部を置く。

###### (庶務課の事務)

第125条 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

- 1 職員の人事に関する事務を処理すること。
- 2 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
- 3 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
- 4 経費及び収入の予算，決算その他会計に関する事務を処理すること。

5 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。

6 平城宮跡の遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

7 庁内の取締りに関すること。

8 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

(美術工芸研究室等の事務)

第126条 美術工芸研究室においては、絵画，彫刻，工芸品，書跡，その他建物以外の有形文化財及び工芸技術に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

2 建造物研究室においては、建造物に関する調査研究を行ない並びにその結果の公表を行なう

3 歴史研究室においては、考古及び史跡に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

(平城宮跡発掘調査部の7室及び事務)

第127条 平城宮跡発掘調査部に、考古第1調査室，考古第2調査室，考古第3調査室，遺構調査室，計測修景調査室，史料調査室及び飛鳥藤原宮跡調査室を置く。

2 前項の各室（飛鳥藤原宮跡調査室を除く）においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行なう。

3 考古第1調査室，考古第2調査室及び考古第3調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究，史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

7 飛鳥藤原宮跡調査室においては、飛鳥藤原宮跡の発掘，遺構及び遺物の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

Ⅲ 図書および資料 (1969年度現在)

図書 19,715冊 写真66,658枚

Ⅳ 予算 (1969年度)

人件費 63,130千円 物件費 212,960千円  
計 276,090千円

Ⅴ 研究成果刊行物

奈良国立文化財研究所学報

V 施設 (1969年度)

土地 5,126㎡  
建物

建 物	春日野	平城	計
事務 所	797	208	1,005
倉庫	191	1,151	1,342
会議 室	20	77	97
講義 室	40	0	40
展示 室	109	0	109
資料 室	86	0	86
覆屋	0	3,496	3,496
その他	0	1,995	1,995
計	200	989	1,189
	1,443	7,916	9,359

年度	名 称	担 当 者
昭29	第1冊 仏師運慶の研究	小林 剛
	第2冊 修学院離宮の復原的研究	森 繻
昭30	第3冊 文化史論叢	小林 剛・森 繻・杉山信三・田中一郎・田中 稔
昭31	第4冊 奈良時代僧房の研究	浅野 清・鈴木嘉吉
昭32	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告	浅野 清・杉山信三・坪井清足・鈴木嘉吉
昭33	第6冊 中世庭園文化史	森 繻
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告	坪井清足・鈴木嘉吉
昭34	第8冊 文化史論叢	小林 剛・守田公夫・浜田 隆・杉山二郎
	第9冊 川原寺発掘調査報告	杉山信三・坪井清足・鈴木嘉吉・田中 稔・工藤 主章・田中 琢
昭35	第10冊 平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告	杉山信三・坪井・鈴木嘉吉・工藤・田中琢・岡田・岩本
昭36	第11冊 院家建築の研究	杉山信三
昭37	第12冊 巧匠安阿弥随仏快慶	小林 剛
	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察	森 繻
	第14冊 「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究	守田公夫
	第15冊 平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査	坪井・鈴木嘉吉・田中稔・工藤・田中琢・岡田・狩野・河原
昭38	第16冊 平城宮発掘調査報告Ⅲ 内実地域の調査	榎本・坪井・田中稔・工藤・沢村・田中琢・岡田・狩野・河原・岩本
昭40	第17冊 平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査2	榎本・坪井・田中稔・工藤・沢村・田中琢・岡田・狩野・河原
	第18冊 小堀遠州の作事	森 繻
昭42	第19冊 藤原氏の氏寺とその院家	杉山信三
昭44	第20冊 名物裂の成立	守田公夫

奈良国立文化財研究所史料

年度	名 称	担 当 者
昭29	第1冊 南無阿弥随仏作善集 (複製)	田沢 坦
昭30	第2冊 西大寺徽尊伝記集成	小林 剛
昭38	第3冊 仁和寺史料 寺誌編1	田中 稔
昭39	第4冊 俊乘坊重原史料集成	小林 剛
昭41	第5冊 平城宮木簡 1	田中 稔・田中 琢・狩野・原・横田拓実・鬼頭・加藤 優
昭42	第6冊 仁和寺史料 寺誌編2	田中 稔・狩野・加藤 優
昭44	第5冊 平城宮木簡1 解説	坪井・守田・田中稔・田中琢・狩野・原・横田拓実・工藤・鬼頭・加藤 優・岩本

Ⅵ 人事移動

(1969年4月1日～1970年3月31日)

4月1日	文部技官採用 西村 康・甲斐忠彦・稲田孝司・黒崎 直。	9月1日	調査部史料調査室長併任解除 田中 稔。第3調査室長から史料調査室長に配置換え 狩野 久。調査部第3調査室主査 牛川喜幸, 保存整理室主査 河原純之, 第4調査室主査 八賀 晋。
4月10日	研究補佐員採用 沢田正昭。		
4月10日	事務補佐員採用 福住八重子。		
5月1日	文化庁記念物課併任解除 松下正司。		
5月26日	小林剛所長 死去。	12月31日	退職 松尾妙子。
	所長事務取扱 藏田 藏。	1月8日	事務補佐員採用 宮本宣代。
7月1日	文化財鑑査官から所長就任 松下隆章	1月9日	研究補佐員採用 石丸 洋・田村陽子。
	東京国立博物館考古課へ転任 本村豪章。文部技官採用 田辺征夫。	3月30日	退職 松本二子・脇本みよ子。
7月16日	文化庁記念物課併任解除, 同課へ転任 三輪嘉六。	3月31日	退職 守田公夫。退職, 千葉県立上総博物館学芸課長に就任 石井則孝。

職員

(1970年9月30日現在)

所属	氏名	官職	担当
庶務課	松下 隆章	文部技官 所長	
	石藤 守雄	文部事務官 課長	
	国井 和朗	文部事務官 課長補佐	
	西村 県治	文部事務官 専門員	平城事務
	岩本 次郎	文部事務官 庶務係長	庶務図書資料
	坂口 義尚	文部事務官 会計係長	会計
	西村 県治	文部事務官 平城官整備管理係長(併任)	平城整備管理
	八幡 扶桑	文部技官(併任)	写真
	井上 政利	文部事務官	庶務
	西田 健三	文部事務官	会計
	加藤 建夫	文部事務官	会計
	丹阪 信次	文部事務官	警務員長
	木寅 忠雄	文部事務官	平城警備
	森田 光治	文部事務官	平城警備
	岡田 博光	文部事務官	警備
	中西 建夫	文部技官	自動車運転
	飯田 信男	技官	自動車運転
	宮本 宣代	事務補佐員(非常勤)	所長室付
	上岡 三佐子	事務補佐員(非常勤)	図書資料
	課	港 悦子	事務補佐員(非常勤)
中村 葉子		事務補佐員(非常勤)	庶務
細川 純子		事務補佐員(非常勤)	庶務
高橋 靖子		事務補佐員(非常勤)	会計
山下 久子		事務補佐員(非常勤)	会計
福住 八重子		事務補佐員(非常勤)	会計
石田 信子		事務補佐員(非常勤)	平城図書資料
吉田 恵美子		事務補佐員(非常勤)	平城庶務
東田 幸子		事務補佐員(非常勤)	平城会計
梶 幸治郎		技能補佐員(非常勤)	平城保安
石川 千恵子		研究補佐員(非常勤)	平城公開
城本 きの		業務補佐員(非常勤)	平城庁務
渡辺 康史		技術補佐員(非常勤)	平城整備管理
前川 重子		事務補佐員(非常勤)	平城整備管理
美術工芸研究室		平田 寛	文部技官 室長
	長谷川 誠	文部技官	彫刻
	守田 公夫	調査員(非常勤)	工芸
建造物室	伊藤 延男	文部技官 室長	建築
	牛川 喜幸	文部技官(併任)	建築
	細見 啓三	文部技官(併任)	建築
歴史研究室	宮本 長二郎	文部技官(併任)	遺跡庭園
	田中 稔	文部技官 室長	歴史
	佐原 真	文部技官(併任)	考古
	森 郁夫	文部技官(併任)	考古
	町田 章	文部技官(併任)	考古
平城官整備管理	加藤 優	文部技官(併任)	歴史
	永野 温子	研究補佐員(非常勤)	歴史
	堀池 春峰	調査員(非常勤)	歴史
平城官整備管理	坪井 清足	文部技官 部長	
	横山 浩一	文部技官 主任研究員(併任)	考古

所属	氏名	官職	担当	
考古第一調査室	横山 浩一	文部技官 室長	考古	
	八賀 晋	文部技官 主査	考古	
	町田 章	文部技官	考古	
	佐藤 興治	文部技官	考古	
	西村 康	文部技官	考古	
	甲斐 忠彦	文部技官	考古	
	黒崎 直	文部技官	考古	
	沢田 正昭	文部技官	保存科	
	菅原 正明	文部技官	考古	
	八幡 扶桑	文部技官 専門職員	写真	
	眞木 礼子	技術補佐員(非常勤)	写真	
	山極 用子	研究補佐員(非常勤)	資料整理	
	考古第二調査室	田中 琢	文部技官 室長	考古
		佐原 真	文部技官	考古
		松下 正司	文部技官	考古
高島 忠平		文部技官	考古	
小笠原 好彦		文部技官	考古	
考古第三調査室	稲田 西	文部技官	考古	
	河原 純之	文部技官 室長	考古	
	工藤 善通	文部技官	考古	
	森 郁夫	文部技官	考古	
	阿部 義平	文部技官	考古	
遺構調査室	石松 好雄	文部技官	考古	
	木下 正史	文部技官	考古	
	田辺 征夫	文部技官	考古	
	沢村 仁	文部技官 室長	建築	
	細見 啓三	文部技官	建築	
計測修景調査室	宮沢 智士	文部技官	建築	
	村上 一郎	文部技官	建築	
	宮本 長二郎	文部技官	建築	
	天田 起雄	文部技官	建築	
	牛川 喜幸	文部技官 室長	遺跡庭園	
史料調査室	藤原 武二	文部技官	遺跡庭園	
	伊東 太作	文部技官	遺跡庭園	
	田中 哲雄	文部技官	遺跡庭園	
	狩野 久	文部技官 室長	歴史	
	横田 拓実	文部技官	歴史	
飛鳥藤原宮跡調査室	鬼頭 清	文部技官	歴史	
	加藤 優	文部技官	歴史	
	田中 琢	文部技官 室長(併任)	考古	
	兼勝 厚三	文部技官(併任)	考古	
	安達 智士	文部技官(併任)	考古	
飛鳥藤原宮跡調査室	菅原 正史	文部技官(併任)	考古	
	稲田 孝司	文部技官(併任)	考古	
	石丸 洋	研究補佐員(非常勤)	考古	
飛鳥藤原宮跡調査室	黒崎 陽子	研究補佐員(非常勤)	考古	
	水野 和雄	研究補佐員(非常勤)	考古	